

中野こども病院ニュース

平成29年1月10日発行 第41号

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

インフルエンザA型が流行中です！！



インフルエンザA型が流行中です。予防接種やマスク、うがいや手洗いで予防に努めましょう。インフルエンザになると高熱がでるため熱性けいれんで来院される患者様も増えてきました。

熱性けいれんってなんで起こるの？

こどもの脳は、大人と違って未成熟です。経験も乏しく、いろいろな刺激にも慣れていません。とくに急な体温の変化には敏感に反応してしまい、過剰な電気活動を起こし、けいれんという症状を起こします。6歳頃になると起こさなくなるのは、発熱に慣れてくるからです。

こどもが熱性けいれんを起こしました！観察するポイント、気を付けることは？

一番大切なことは、あわてないことです。けいれんですぐに命に関わることはありません。深呼吸して、気を落ち着かせましょう。次にすることは、安全な場所に寝かせ、観察することです。チェックポイントは、顔色（土気色になることが多いです）・目の動き（白目を向くことが多いです）・体の動き（左右対称に硬くなったり、ピクピクします）などです。始まった時間も記憶しておきましょう。

熱性けいれんは予防できますか？

ダイアップ座薬という即効性のある薬を、発熱して早期に使えば予防できる可能性があります。ただし、ふらつきなどの副作用に注意が必要です。また、積極的に予防接種をして病気になりにくくすることも間接的な予防になります。

解熱剤は使ってもいいの？

解熱剤で熱性けいれんは予防できませんが、しんどさを和らげる効果はあります。ダイアップと同時に使うと効果が弱まるので、先にダイアップを使用し、30分以上空けてから、ぐったりしているなら使しましょう。

悪寒とけいれんの違いは？

高熱の時は悪寒（おかん）といって、ブルブルからだが震えることがあります。けいれんとの違いは、悪寒の時は意識はあること（呼びかけたら反応してくれます）、時間が短い（数秒から数十秒ブルブルします）ことです。ただし悪寒が見られるときは急激に体温が上がっていくサインですので注意してください。



まだまだ嘔吐の症状で来院される患者様が多く来院されています！

学校や保育園で嘔吐を主訴にした胃腸炎が流行しているようです。当院にも多数来院されています。水分補給を工夫してみてください。

〇嘔吐がひどいとき

吐いた物が気管に詰まらない様に顔を横向きにしてあげましょう。

〇水分や食事の摂らせ方

お子様が吐いたあとに欲しがるからといってすぐに水分を与えると、嘔吐を繰り返してしまい逆効果です。嘔吐してから30分から1時間は何も与えず、吐き気がおさまったらスプーン1杯の水分からはじめ、少しずつの量を回数多く根気よくあげてください。与える水分としては経口補水液が有効です。食事は本人が欲しがるもので大丈夫です。

※吐き気止めの座薬を有効に使いましょ

嘔吐が何回も続くとお子様は体力をととも消耗します。グッタリして脱水も進んでしまいます。吐き気が強い時に吐き気止めを使って、吐き気が落ち着いたら水分を少しずつあげてみましょう。本人がたくさん欲しがっても、絶対に少しずつです！！

当院の流行状況

RSウイルスの検出数が再度増加しています。乳児がいらっしやるご家庭は注意が必要です。

ヒトメタニューモウイルスの検出がありました。

おたふくかぜの報告数は徐々に減ってきましたが、まだ報告はあります。

マイコプラズマ感染症がようやく減少してきました。ピークは越えた予想です。

インフルエンザA型の検出が続いています。学校が始まれば一気に増加すると考えられます。これから注意が必要です。

嘔吐や下痢の症状の患者様が多数来院されていますがノロウイルスやロタウイルス検査は陰性です。



〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17
社会医療法人 真美会 中野こども病院
TEL: 06-6952-4771
<http://www.nakano-kodomo.or.jp>

1月の病棟行事は「ばいきんバイバイ」です！！

1月11日に病棟行事「ばいきんバイバイ」を行います。

内容は「キャラクターお面」の製作、的当て遊び「バイキンマンをやっつけよう！」

「ばいきんバイバイ」のお話です。

インフルエンザやノロウイルスが流行しています。手洗いやうがいでばいきんをやっつけましょう！！

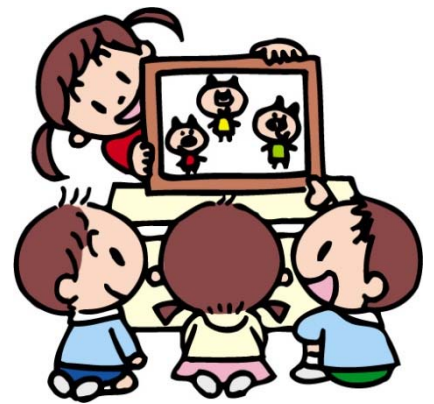
キャラクターお面



好きなキャラクターを選んで色を塗りお面を完成させましょう！幼児はアンパンマンの顔に貼りつけて作ります。



バイキンマン的当てゲームでバイキンマンをやっつけましょう！！



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしく申し上げます。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。